

令和2年度第2回運営委員会 議事概要

- ・開催日時 令和3年1月21日(木) 13時30分～15時30分
- ・出席者 運営委員 …………… 12名出席 (欠席委員: 3名)
 ウイズセンター ……… 所長、次長

議 事	概 要
<p>1 開会 2 議事 (1) 令和3年度予算の編成方針等 (2) 令和2年度事業の実施状況と来年度の見込み 〔質疑等〕 委員 ウイズセンター 委員 ウイズセンター</p>	<p style="text-align: center;">ウイズセンター説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、コロナの影響と今後国民が取り組むべきデジタル化に対応した予算、事業体制になるようだと理解した。 ・最初に質問するが、来年度の事業総額を聞きたい。 ・まだ予算が確定していないが、県の方針が10%減となっているので、基本的にはそれになると思う。 ・男女課の方が来られていないが、ウイズプランが今年度末に確定すると思う。国のプランでもセンターの強化が言われているので、啓発をしないと男女共同参画が進まないと思う。啓発の予算が削られるとどうなるのかと思う。 ・情報コーナーについては、男女共同参画に特化した資料を蓄積していただきたい。 ・センターのホームページは県のホームページからリンクしているかたちだが、もう少し充実すればいいと思う。 ・印刷媒体がない中で、ウイズセンターの啓発をどうしていくかだが、ホームページ、フェイスブック、メルマガを使っていくことを考えている。 ・また、そうした利用がないかたには、簡易な「かわら版」的なペーパーものをコピーする等で発信を考えたい。 ・図書の購入については、厳しくなると思われるが、センターとしてなくてはならないものは、落とさないようにしていきたい。 ・ホームページは、県のシステムは書式が決っており、見栄えするものは難しいが、見せ方や内容を工夫し、閲覧件数が増えるよう研究している。 ・今年度、情報誌Withの全バックナンバーをPDF化し、ホームページに掲載しており、今後とも頑張って充実させていきたい。

議 事	概 要
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズカレッジとトータルアシスト事業で全体の半分位を使っているのに、この2つを削ると10%の削減は軽くクリアできるのではないかと。 ・トータルアシスト事業は、女性に働く力をつける事業と思うが、コロナで非正規の特に女性がクビを切られているが、地道にこういう活動を続けていくことは大切でないかと思う。 ・ウィズカレッジへのトータルアシスト事業の組み込み方については、決っていないのか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・トータルアシスト事業については、予算がかなり切られてしまったが、産業労働部の雇用関係の事業と一緒に実施し、国の交付金を使うことを男女課が考えているようだ。 ・ウィズセンターとしては、ウィズカレッジで県民に男女共同参画の啓発を行うのがメインと考えている。 ・産業労働部での支援の取り組みを踏まえて、ウィズセンターがどういう就労支援ができるかを考えているが、予算的に今までやっていた連続講座でスキルをつけるのは難しいので、ウィズカレッジの中で女性の就労に関する講演会を実施することを考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。予算が増えたら、ぜひ復活して欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズカレッジ事業が委託事業ということで金額が大きくなっていると思うが、企画講座を5回から2回に減らし削減が達成できているのではないかと。 ・他も全部縮小するような感じは言い過ぎではないか。 ・また、トータルアシスト事業についても減らして、ウィズカレッジ事業に入れるのではないかと。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・当初はウィズカレッジの予算をつけない、トータルアシスト事業の予算だけをつけると言われたが、ウィズセンターからやりたのはウィズカレッジだと主張し、付け替えてもらった。 ・ウィズセンターの予算は、県庁の男女課の予算の中にあるため、なかなか要求が通らなかったという経緯がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会を尊重せよ。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・男女課に伝え、復活するよう努力したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・トータルアシスト事業に代わるものを、どこか他でやるというのは。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・男女課では、来年度は産業労働部と組んで一つの大きな事業として、その中に就労支援を組み込もうとしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度もウィズカレッジは委託するのか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料が高額になっているので、他の事業にしわ寄せがくるのかと感じる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌Withがペーパー廃止の件、ホームページの改良に予算が必要なことはわかる。デザインが得意な人がペーパーを作って、ホームページに貼り付けてくれるとありがたい。

議 事	概 要
ウィズセンター 委員	<ul style="list-style-type: none"> 先程説明したペーパーで出すものも、ホームページに掲載する。 現在、ウィズカレッジのポスター、チラシは全て掲載しており、今後とも情報発信を続けるつもりだ。
ウィズセンター 委員	<ul style="list-style-type: none"> 情報コーナーに何の資料があるかというのはどこに行ったらわかるのか。必要があれば出すと言われても、出せと言えないのではないか。
ウィズセンター 委員	<ul style="list-style-type: none"> 問い合わせてもらえば、情報コーナーから提供している。図書管理用の検索システムは入っているので、探すことは可能である。 県立図書館には横断検索システムがあるが、ウィズセンターの情報をそれに載せることはできないのか。検索システムがないと、情報にリーチすることができない。
ウィズセンター 委員	<ul style="list-style-type: none"> 言われる通りである。図書の貸し出し管理にローカルではパソコンで管理しているが、図書データを公開できていない。現在、コロナ禍への対応として民間検索会社から無料でのシステム提供の話が出ているので、利用を検討してみたい。
ウィズセンター 委員	<ul style="list-style-type: none"> 先程の発言のように、直営でやれば経費を削減する余地があると思う。委託事業をなるべくカットするのはどうか。 書籍についても、男女共同参画に特化するのはいかがでしょうか。新聞と雑誌の購読を全廃しても良いのではないか。 登録団体への支援事業が半減になったのが、非常に残念だ。ウィズセンターの運営と登録団体は両輪である。
ウィズセンター 委員	<ul style="list-style-type: none"> ウィズセンターの象徴である情報誌Withの廃止の話は相当残念だ。他県でも事例があるのか。
ウィズセンター 委員	<ul style="list-style-type: none"> 委託事業の件だが、これは元々直営で実施していたものが、昨年度の職員の1名削減に伴い委託事業となったものだ。委託に出したからといって、丸投げはできないので、業者と内容の協議を何度も実施しており、人手がないのが厳しい。 情報コーナーについては、今年度整理に取り組みスッキリしたと思うが、いかがか。帰りにご確認いただきたい。 新聞については、行政機関の情報収集として不可欠な部分があり、一部は削除したが、今後とも必要なものとする。雑誌も、広く一般の方に気楽に立ち寄ってもらえるよう、一人でも多くの県民に利用いただきたいと思っており、必要と考える。 昨年、清心女子大学の学生が県に対して施策提言をし、地元紙で大きく報道されている。そうした若い人たちの活動の場として、ウィズセンターを利用して欲しい。
ウィズセンター 委員	<ul style="list-style-type: none"> 厳しい予算の下で活動を考えるのは大変だと思って聞いた。 情報誌Withの発行休止は衝撃だった。情報誌Withはウィズセンターの顔であり、なくしてはいけないと思う。将来の復活を期待する。

議 事	概 要
ウィズセンター 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。個人的にも復活させたいと思います。 ・予算は本庁が決定するのか。情報誌は他の予算を削減すれば復活できる金額ではないか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・今年ウィズカレッジについては、評価できないと言われたことがある。男女共同参画の問題に特化して欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・予算については、前年同様で要求したが、県庁の指示でどんどん削られた結果である。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はコロナ禍への対応として、講師選定については、まず県内の方であること、次にウェブ配信でもきちんと楽しく内容を伝えることができること、という観点から行った。結果、落語家、お坊さん等という方になったこと、複数人での会話となったことから、少し内容的にそぐわない部分があったら申し訳ない。 ・ただ、来場した方には楽しんでもらい、評価いただいたと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌Withの休刊はどういう趣旨か。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・県全体の印刷物の原則廃止によるものである。ウィズセンターとしては、今後もホームページで情報発信を行うとともに、ネットを使わない人のためにコピーで紙媒体での情報発信も続けるつもりである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・情報誌Withを最後に送るとき、メールマガジンに全部登録してもらって、情報管理していけば良いのではないか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・助言ありがとうございます。そうしたいと思います。
3 閉会	以 上

※ウィズセンター運営委員会の概要はこちら →

<https://www.pref.okayama.jp/page/462788.html>